

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、短期大学士（幼児教育学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科は、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修することで、教養的・専門的知識に基づく思考力や判断力を養い、教育・保育実践のために必要な熱意や責任感、そして技能を身につけることをめざします。本学科が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「共通教育科目」、「基礎教育科目」、「専門教育科目」からなる教育課程を編成します。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	現代の教育・保育を支える教養的知識を有している。	<p>「共通教育科目」は、現代の教育・保育を支える教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。</p>	<p>本学科が求める基礎学力とそれらを応用するための基礎的な思考力と判断力を有し、明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学科では能力に応じて、幼稚園教諭2種免許状および保育士資格が取得できますが、これらの免許・資格を必要とする領域で活躍するための資質・能力を、2年間で高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育士となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。</p>
	1-2	教育・保育に関する専門的知識を有している。	<p>「基礎教育科目」は主に1年次に開講され、初期演習を柱として、外国語運用能力や情報処理能力、健康や運動に関する知識や技能など、短期大学士として必ず身につけておかなければならない資質を支える科目群です。また、教育者・保育者になるための基礎となる科目群でもあります。</p>	
2. 技能・表現	2-1	教育・保育の実践を行うために必要な技能を有している。	<p>「専門教育科目」は、1・2年次にわたって開講され、幼稚園教諭・保育士としての知識・技能・態度を身につけるため、教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた必修科目および選択必修科目を開講します。教育・保育に関する基礎理論に関する科目から保育指導法などの応用的・実践的な科目、そして教育・保育実習、教職実践演習というように、適切な順序性をもって開講期を設定します。</p>	
	2-2	教育・保育に関わる多様な人々とコミュニケーションをとり、連携・協働することができる。	<p>教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高めます。</p>	
3. 思考・判断	3-1	市民としての自覚に基づいた思考力および創造的能力を備えている。	<p>また、教育課程の評価については、「幼児教育・保育研究」および教員免許に係る実践演習科目における学修状況をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	
	3-2	教育・保育に関する課題解決に向けて、様々な情報を統合し、論理的な思考ができる。		
4. 態度・志向性	4-1	教育・保育に関わる熱意と責任感を身につけている。		
	4-2	教育・保育に関して、生涯にわたり学び続ける力を身につけている。		